

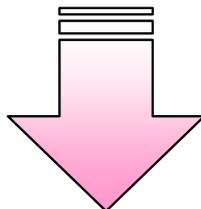
## 地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発

本格的な高齢化社会を迎え、高齢者・障害者等の円滑な移動手段としてバス・タクシーの重要性が高まっている中、低コストで、乗降及び立着席しやすいなど、高齢者・障害者等に優しい車両の開発・普及が喫緊の課題となっている。

このため、地域のニーズに応じ、低コストのバリアフリー車両の実現を図るべく、利用者、交通事業者、自動車メーカー等と連携し、車両の開発及び新たな標準仕様の策定を行う。

### 背景

- 地方部、都市部とも本格的な高齢化が進む中、高齢者等に優しいバス・タクシーの開発・普及は、バス・タクシーが公共交通機関としての使命を果たす上で必要不可欠。
- わが国の乗合バス・タクシー車両は、販売市場の規模が小さい(バス:約6万台、タクシー:約27万台)ため、市場原理に委ねるだけでは開発が進まない。
- バリアフリー車両の導入を進めるためには、高齢者等の利用者のニーズに応え、かつ、低コストの車両が求められている。



### 施策

国土交通省が中心となって、利用者、交通事業者、自動車メーカー等関係者が連携して、以下の施策に取り組むことが必要。

#### 地域のニーズに応じたバリアフリー車両の開発

○地域・輸送形態に応じて、高齢者・障害者等のニーズを把握するとともに、車両開発に係る技術的課題やコストなども踏まえ、普及すべき高齢者・障害者等に優しい車両イメージを検討し、車両の試作・評価を通じて、標準仕様を策定する。

地方部

タクシー(一般・乗合)



小型バス



大型バス



都市部

## 地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発スケジュール

車両の種類	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度以降
共通 (1. ~5.)	利用者のニーズ調査 海外事例調査	普及に向けた課題整理 海外事例(規制等)調査 東京モーターショー出展	普及目標の検討	バリアフリー法に基づく見直しに反映 ・方針 ・基準 ・標準仕様
1. 大型バス	既存車両の実態調査 論点整理 車両イメージ案の検討	技術的課題等の整理 モックアップ試作 モックアップ評価 標準仕様見直し(短期対応) フルフラット低床バスの要件整理 車両イメージ案の検討	バリアフリー基準見直し(中期対応) イメージ案の評価	
2. リムジンバス・高速バス	運行実態調査	バリアフリー対応の実態と課題整理	バリアフリー対応の標準化	
3. 小型バス	既存車両の実態調査 論点整理(大型バスに準拠)	バリアフリー対応の実態と課題整理	バリアフリー基準見直し(大型バスに準拠) バリアフリー対応の標準化	
4. 乗合タクシー(コミュニータークラス)	車両イメージ案の検討 改造車両の試作	試行運行による評価 標準化の検討	バリアフリー基準・標準仕様の検討	
5. ユニバーサルデザインタクシー	車両イメージ案の検討 車両イメージ案、モックアップ等に基づく論点整理	車両イメージ案、モックアップ等による評価 標準化の検討	バリアフリー基準見直し	